



SASEBO

KOSEN

JOSHI

SASEBO KOSEN  
リケジョのミライ

# 理系女子の夢をかなえる!!

## Sasebo-Kosen Girls's life



### 各学科の女子の先輩たちの就職先、進学先について見ていこう!

産業界からも女性エンジニアのニーズが高まっています。また、専門分野のより深い研究を行うために専攻科・国公立大学へ進学する女子学生も多数います。

### 佐世保高専 女子卒業生の進路の状況

#### 機械工学科

##### 【就職先】

(株)カシフジ、(株)牧野フライス製作所、(株)日本触媒、日本精工九州(株)、積水化学工業(株)、日鉄エンジニアリング(株) など

##### 【進学先】

豊橋技術科学大学、九州工業大学 など

#### 電気電子工学科

##### 【就職先】

ダイキン工業(株)、ダイキンエアテクノ(株)、メタウォーター(株)、パナソニック(株)コネクティッドソリューションズ社、三菱重工業(株)、(株)安川電機 など

##### 【進学先】

佐世保高専専攻科 など

#### 電子制御工学科

##### 【就職先】

(株) SRA 西日本、京セラコミュニケーションシステム(株)、(株)マイスターエンジニアリング、Gcom ホールディングス(株)、カラビナテクノロジー(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ、(株)マツダ E&T、NEC ネットウェア(株) など

##### 【進学先】

東京工業大学、佐世保高専専攻科 など

#### 物質工学科

##### 【就職先】

日東電工(株)、第一三共ケミカルファーマ(株)、積水化学工業(株)、大日精化工業(株)、DIC (株)、沢井製薬(株)、旭化成(株)、KM バイオロジクス(株)、(株)東洋新薬、(株) LIXIL、エスケー化研(株)、ダイキン工業(株) など

##### 【進学先】

北海道大学、豊橋技術科学大学、広島大学、九州大学、九州工業大学、佐世保高専専攻科 など

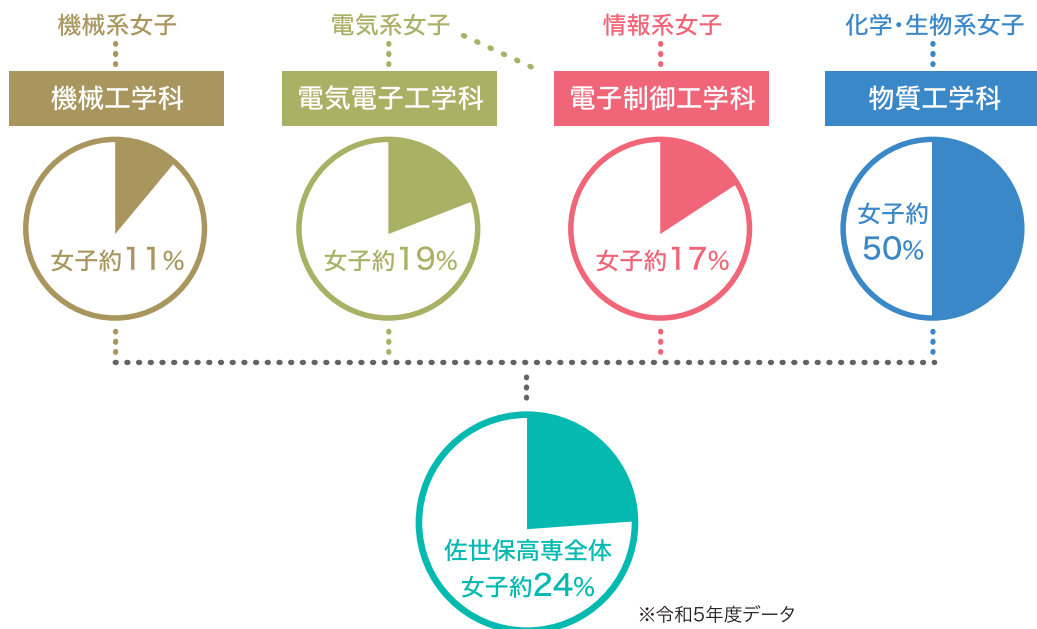


女子学生の就職と進学の割合はおよそ7:3です。

## 佐世保高専の男女比

高専へ進学する女子は年々増えています。

高専全体の令和3年度の本科在学者の女子学生比率は22.2%、佐世保高専全体の女子学生の比率も約20%です。学科により多少のばらつきはありますが、全学科に女子学生が在籍しています。



## 佐世保高専の女子学生が自慢する学校の施設を見ていこう！

男子学生の割合が多いと設備も男子学生向けと思われるかもしれませんが、そんなことはありません！近年増加傾向の女子学生のために、佐世保高専でも女子学生向け設備の充実に力を入れています。少ない人数で使用するのので、トイレや更衣室もゆったりと快適に使えます！

### 更衣室

1人1つのロッカーと5つの洗面台があるよ



### 電気電子・物質工学科棟／図書館のパウダールーム

トイレもパウダールームもとってもきれい



### 電子制御工学科B棟

電子制御工学科の新しくなった様めちゃキレイ



# 機械工学科卒 開発設計エンジニア



とりあえず  
チャレンジ!  
がモットー

## RIKEI JOSHI 01



株式会社カシフジ  
技術部設計課

木下 七海さん  
Nanami Kinoshita

2021年 佐世保工業高等専門学校  
機械工学科 卒業  
2021年 株式会社カシフジ 入社

## RIKEJO OFF SHOT

HOLIDAY

アクティブにものんびりも  
休日は、自宅で何本も映画を見る日があれば、ソフトテニスで汗を流す日もあります。ソフトテニスは、中学、高専と続けている趣味で、勤務地である京都でも社会人クラブに入会して楽しんでいます。



映画鑑賞と  
ソフトテニスが  
趣味

MY LIFE

オンとオフの切替を大切に  
ライフワークで大切にしているのはオンとオフの切替です。私は、仕事でミスをするとながティブを引きずってしまいがち。休みの日はしっかり休んで、反省はしても後悔しすぎないように心掛けています。



授業で知った図面の魅力。  
言葉を介さずとも伝わる  
「美しい設計図」に挑む

### 就職率と専門性の高さに惹かれて

初めて高専の存在を知ったのは、中学2年生の時。生徒会で知り合った先輩が高専に進学すると聞いたのがきっかけです。それまで私は、工場勤務をしていた父親の影響で、手に職を持った技術者に憧れており、工業高校の機械科に行くつもりでした。しかし、高専のことを調べるうちに考えが変わってきました。非常に高い就職率と、専門的な知識が効率よく習得できる5年間の一貫したカリキュラムにとっても惹かれたのです。結局、周囲の先生方のすすめもあって、佐世保高専への進学を決意しました。

### モノづくりの原点といえる設計の仕事

現在私は、歯車を作る工作機械で業界トップを誇る会社で開発設計の仕事をしています。高専入学当時の「技術者」から「設計者」に進路転向したのは、3年生の時。1~3年次に多く行われた工場実習の授業が大好きだったのですが、実習を重ねるごとに、そのモノを作るために必要不可欠な「図面」に魅力を感じるようになったのです。寸法といった必要な情報はもちろん、設計者のこだわりさえ、言葉で説明せずとも整然と伝わる「美しい図面」、私もそんな図面が描きたいと思いました。

業務で手掛けるのは学生時代に見てきたものよりはるかに複雑ですが、私が描いた図面をもとに作業を行う現場スタッフから「わかりやすい」とお褒めの言葉をいただくことも。一見同じに見える機械であっても、その中身や図面はまったく違います。だからこそ奥が深く、おもしろいのです。

### 仕事に生かされる高専時代の学び

開発設計の仕事をして感じるのは、高専時代の学びがほぼ全て今に生かされているということ。特に設計は、理論的に考え進める「設計者の視点」と、現実的な機械加工や組立工程などを考慮する「作業者の視点」を持つことが必要だと言われています。高専では座学で学ぶ理論を実習や研究で実践し、それをまたレポートにまとめることが多くありました。設計者と作業者、両者の視点を互いに行き来して学んだこの経験がとても役に立っていると実感しています。

自分の設計した図面が実体となり、工作機械の一部となって役割を果たしているのを見るとやりがいを感じます。入社3年目で、まだまだ大きな実績はありませんが、小さな部品であっても産業を支える一部になれているのかなと思うと自信が湧いてきます。この春からは新機種の開発設計に携わるようになりました。悩むことも多くありますが、手掛けているプロジェクトを成功させることが目標です。また、海外出張も経験させてもらったことで英語欲が再熱。英語の勉強にも再度チャレンジしたいと思っています。



# 電気電子工学科卒 長崎大学教授

自分の  
可能性を信じて  
チャレンジ!

RIKEI JOSHI 02



長崎大学

大学院工学研究科  
電気・情報科学部門 電気電子工学分野  
大島 多美子さん

Tamiko Ohshima

1997年 佐世保工業高等専門学校 電気電子工学科 卒業  
1997年 熊本大学 工学部 電気情報工学科 3年次編入学  
1999年 同卒業  
1999年 熊本大学 大学院 自然科学研究科 博士前期課程  
電気システム専攻 入学  
2001年 同修了  
2001年 熊本大学 大学院 自然科学研究科 博士後期課程  
システム情報科学専攻 入学  
2003年 佐世保工業高等専門学校 電気工学科 助手 採用  
2004年 熊本大学 大学院 自然科学研究科 博士後期課程  
システム情報科学専攻 修了  
2004年 博士(工学) (熊本大学) 学位取得  
2005年 佐世保工業高等専門学校 電気電子工学科 講師 昇任  
(電気工学科を電気電子工学科へ科名変更)  
2010年 佐世保工業高等専門学校 電気電子工学科 准教授 昇任  
2020年 九州大学 大学院 システム情報科学研究院 准教授  
(クロスアポイントメント、期限付) 採用  
2023年 佐世保工業高等専門学校および九州大学 退職  
2023年 長崎大学 大学院工学研究科 電気・情報科学部門  
電気電子工学分野 教授 採用

RIKEJO OFF SHOT

HOLIDAY

家事をこなし体をいたわる休日  
平日はバタバタしているので、休日は溜まった家事や弁当の下ごしらえなど翌週の準備をすることが多いです。お酒を飲みながら動画を見るのが一番の癒しタイム。たまに家族で温泉にでかけることも。



15歳と16歳の  
子どもがいる  
4人家族

MY LIFE

家族に感謝しつつ仕事に没頭  
自分が納得のいく仕事できれば、それが私生活に反映され、共に生活をする家族へ感謝し、やさしく接することができます。とはいえ、迷惑かけていることも多く、家族との時間を大切にしています。



## 高専だから実現できた 小学生からの夢、教員と 研究者という2つの道

### 学校の先生への夢を抱いて高専へ

内気だった私を変えてくれた小学3年の時の担任の先生に憧れ、幼い頃からの夢は学校の先生になること。そのためには普通高校から大学に進むのが一般的ですが、「人と違うことがしたい」という思いが強く、数学が得意だったこともあり、佐世保高専への進学を決意。

高専で初めて出会った電気工学ですが、電気を作るところから電気を使うことまで幅広く学べ、私たちの生活の基盤を支える重要な分野であることに、とても興味を持ちました。特に好きだった授業は実験です。教科書で学んだことが実際に目の前で行われたり、自分で配線した回路が正しく動作したりと、楽しさにあふれていました。中でも実験レポートをまとめるのに考察するのが好きで、納得できるまで全力投球でした。

### 高専で尊敬すべき恩師との出会い

高専では「研究」の楽しさも教えてもらいました。誰も成し遂げていないことに挑戦するワクワク感と、試行錯誤を繰り返しながら課題をクリアしたときの達成感を味わうことができる研究の醍醐味を知り、おかげで何事もコツコツとやり遂げる力が身に付きました。

最大の恩師に出会えたことも高専に行ってよかったことです。その先生は当時40代でしたが、教員をしながら博士号に挑まれるなど、バイタリティにあふれていました。厳しい先生ですが、昼休みは学生相手にバドミントンを本気で挑むお茶目な方。熊本大学に編入したのもそうですが、高専教員になるきっかけをくれたのもその先生です。「佐世保高専に教員として戻ってこないか」と誘っていたが、お手本にすべき先生が身近にいたからこそ、今の私があるのだと思います。

### 高専教員20年を経て新たな挑戦へ

教員は、人の人生に関われる魅力的な仕事です。私は、学生一人ひとりに寄り添いながら将来について一緒に考える時間を大切にしてきました。学生が希望の進路をつかみとり、共に喜んでいる時が幸せて、やりがいを感じる瞬間です。20年間の高専教員生活では、教務主事補、専攻科副科長なども務め、広報活動やリケジョにも力を注いできました。実はこれも恩師の影響で、「与えられた仕事は断らない」と決め、実践してきたこと。おかげで責任ある仕事を任せてもらえ、学校運営にも携わるようになりました。

恵まれた環境である高専を辞め、新しいことに挑みたいと思ったのは、九州大学の先生方との出会いがきっかけです。研究力の高さ、チャレンジ精神旺盛な姿に刺激を受けました。そんな時、長崎大学の公募を知り、しないで後悔するより、やって後悔したほうが良いと一大決心。無事に採用され、この春から着任。この選択が正しかったのかわかりませんが、これまでの経験を糧に教育者として、研究者としてやり抜きます。



# 電子制御工学科卒 社内ベンチャー研究者



2歳の子を持つ  
ママでもあります

RIKEI JOSHI 03



セコム株式会社  
ビジネスデザイン研究室

古河 あゆみさん  
Ayumi Furukawa

2010年 佐世保工業高等専門学校  
電子制御工学科 卒業  
2010年 佐世保工業高等専門学校  
専攻科 電気電子工学専攻 入学  
2012年 同修了  
2012年 九州大学大学院 システム生命科学府  
システム生命科学専攻 入学  
2015年 同修了  
2015年 セコム株式会社 入社

## RIKEJO OFF SHOT

HOLIDAY

休日は家族でのんびり散歩  
2歳の子どもを連れて近所を散歩  
しています。遠出して大きな動物園  
に行くことも。大人には何気ない  
景色も、「お花キレイね」「お魚いっ  
ぱい」と子どもと歩くと楽しい発見  
がたくさんあって新鮮です。



MY MEMORY

2つの部活に熟中した日々  
高専時代は、少林寺拳法と吹奏楽  
の2つの部活を掛け持ち。少林寺  
拳法での全国大会出場、企画から  
運営まで全て学生自ら行う吹奏楽  
部の定期演奏会など、楽しい思い出  
がいっぱいです。



吹奏楽部では  
ユーフォニウム  
を担当

培ってきた技術を生かし  
安全・安心・快適・便利に  
暮らせる社会をめざす

## 高専進学で将来の選択肢を広く

佐世保高専へ進学したきっかけは、小学生の頃から通っていた少林寺拳法の道場に高専の先生と学生が多く、話を聞くうちに興味を抱いたからです。普通高校も考えましたが、当時まだ具体的な将来像を描けておらず、進学と就職どちらにしても選択肢が多そうだと感じた高専を受験することに。電子制御工学科を選んだのは、単にパソコンに触るのが好きだったからです。

高専は普通高校とは違うというイメージを持つ人も多いのですが、勉強する内容が異なるだけで学生生活はなんら変わりません。むしろ、5年一貫制であるため、より深い友だち関係が築けるといいます。私は卒業して10年以上経ちますが、当時のクラスメイトとは今でも仲がよく、いい関係が続いています。

## 高専で養った社会人に必要なスキル

電子制御工学科では、低学年次からプログラミングの授業を通して、あるゴールに達成するためにはどうというプロセスが必要で、それらをどういう順序で実行すべきかを考える機会が頻繁にあります。ここで身に付く「アルゴリズムを考える力」は、高専だからこそ得られたスキルであり、今に生きていることだと感じています。というのも、仕事では設定した目標に対しての道筋とやるべきことを整理し、さらに、進捗に応じて到達方法を随時組み替える必要があります。それが自然にできるのは、やはり高専での学びのおかげです。ほかにも、「自分の考えを説明する」ことはビジネスシーンでよくあることですが、これも高専時代に培ったプレゼンテーション技術が役立っています。実習、研究、学会発表を通して、相手にきちんと伝えるための資料づくりや発表のしかたを習得することができました。

## 大切な人たちを守るために

自分の専門性を生かしつつ、他のことも学びたい。そう思って進学した専攻科では、バイオイメージング・オマティクス研究を手掛けました。これは生物学と画像情報科学の融合研究ですが、生物学に興味がありながらも高専で学んだ技術はモノづくりにしか使えないと思い込んでいた私には衝撃の出会いでした。以降、やりたいこと、すなわち目的に対して、自分はどんな手段を持っていて、その手段をどう使うか、あるいはどう増やせばいいのか考えられるようになりました。そう考えれば就職先も幅が広がります。私は、社会に出て何をしたいのかを考えたと、家族や友人、お世話になった方々が安心して暮らせる社会をつくりたいと思いました。それを実現できるのが今の会社であり、自分は研究職として貢献できるのではないかと考え志望しました。現在は新しいビジネスモデルの事業企画を担当する部署に所属。研究者として新たな価値を創造し、誰もが安全・安心・快適・便利に暮らせる社会づくりに挑んでいます。



# 物質工学科卒 化学メーカー研究開発



京都ライフを満喫中です♪

RIKEI JOSHI 04



積水化学工業株式会社  
環境・ライフカンパニー 総合研究所  
基盤技術センター  
評価分析グループ

渡部 晶さん  
Akira Watanabe

2020年 佐世保工業高等専門学校  
物質工学科 卒業  
2020年 積水化学工業株式会社 入社



## RIKEJO OFF SHOT

MY MEMORY

4年次、応援団の副団長に  
高専時代の楽しい思い出といえば  
応援団。演舞構成を考えたり、スケ  
ジュールを調整したり、約50名の  
団員をまとめたり。なにより美しい  
演舞をするため互いに高め合うこ  
とができたメンバーが最高でした。

高専時代の  
友達とUSJへ!



MY FAVORITE

高専では剣道部に所属  
高専時代の部活は、小学生から続  
けていた剣道部へ。男女混合だっ  
たため、男子部員と稽古や練習試  
合をすることが多く、体格差を補う  
ためにどうすればよいかなどを考  
え、実践するのが楽しかったです。

旅行も好きで  
いるんところへ  
出かけます♪



大好きだった化学を仕事に。  
一筋縄でいかない奥深さに  
好奇心を刺激される毎日

好きな分野を深く学ぶために高専へ

ぼんやりとですが、中学生の頃から化学の分野で働きたいと思っていました。進路を考える際、広く浅く学ぶよりも好きな分野の知識を深く身に付けたと、佐世保高専への進学を決めました。2つ上の兄がすでに通っていたことも大きな理由です。

自宅は長崎県内でしたが通学に片道1時間半ほどかかるため入寮。平日は静寂時間という勉強時間があり、同室の子とわからないところを質問し合って勉強していたため、学びがしっかり身に付いたように思います。学生生活はとにかく楽しいものでした。勉強はもちろん、部活の剣道や副団長を務めた応援団など、楽しい思い出がたくさんあります。

身近なものとの化学との深い関係

高専時代に有機化学や物理化学、高分子、生物化学など、幅広く化学を学んだなかでも特に興味を抱いたのが無機化学です。分子の結合や反応を知ると、身近にあるもの全てが化学式で表現でき、教科書を越えた楽しさを感じました。焼き物のメカニズムを学び、実際に陶芸体験をするという授業もあり、化学の視点で身の回りのものを見るとまたおもしろく思えました。ちなみに、その授業で私は大きな「ひよこ饅頭」を作陶。焼き上げて割れてしまい落ち込んでいたところ、担当の先生がみんなに内緒で同じようなものを作ってくれました。それがとてもあやしい造形で、ちょっと笑ってしまいましたが、すごうれしかったのを覚えています。先生方と生徒との距離の近さも佐世保高専ならではのね。

化学は奥が深くてももしろい!

3年次、大学への進学も考えましたが、「高専生はメーカーに就職しやすい」と言われることから、就職することに。実際、会社面接の際に、「高専生は知識と技術を持っているので即戦力になる貴重な人材だ」と言っていただきました。会社選びは、ネット情報だけではわからないことが多く、部活や学科の先輩に相談。化学メーカーであり、職場環境がよいということから今の会社を志望しました。

現在は、化学を活用して社会インフラや住環境などをより豊かで安心安全なものに整えるための部署に所属。現代の社会問題を解決するための新しい製品開発のための研究も手掛けています。入社してすぐの頃でも会議などでの話が理解でき、分析や実験がスムーズに行えたのは、高専時代に基礎知識を身に付けていたからだと思います。化学を扱っているため、簡単にはいかないことが多いのですが、そこが化学のおもしろいところで、日々発見の連続です。会社には尊敬できるその道のプロがいっしょるので、周りのサポートを受けながら、成長していきたいと思っています。

# 先輩たちの入学前に知っておきたかったこと



## Q 高校生でもない、大学生でもない、高専生ってどんな感じ？

**A** 1～3年生は高校にはない大学の自由さが満喫でき、4、5年生は高校のような雰囲気を楽しむことができます！  
5年生になっても本気度の高い体育祭や文化祭があり、私は運営や練習などの準備段階から全力で楽しんでいます。大学で学ぶ範囲も1年生の頃から少しずつ入ってくる高専は、高校よりも学習進度は早いです。  
15歳から専門知識を学べるのは高専最大の強みだと思います。実際に企業も専門的知識とスキルが身に付いていて即戦力になる高専生を採用したいところも多いです。  
またアルバイトをする際、高専生は考えて手をうごかすことが学校で自然と身に付いているので、アルバイト先でも頼りにされることが多いと感じます。

## Q 毎日何時ぐらいに帰れますか？

**A** 授業は3限授業の日と4限授業の日があり、3限授業の日は14時半に終わります。4限授業の日は16時10分に終わります。部活動は夏は18時半まであり、冬は18時まであります。佐世保駅方面に帰る人は学校の前を通るバスの最終が早いので、夏の部活のあとは早く片付けないと乗り遅れてしまいます。また、3限終わりの日はちょうどいいバスがないので、早く帰りたいときは高専近くの国道まで出ることが多いです。電車は本数が少ないですが、23時まで通っているので最終の時間などは気にしなくて大丈夫です。

## Q どんな行事がありますか？

**A** 体育祭や文化祭、年に2回の球技大会、寮では年2回寮祭があります。体育祭は、毎年応援団の迫力のある演舞がとてもかっこいいです。最後に行われる学科対抗リレーは毎年とても盛り上がります。文化祭は5月頃から実行委員を決め準備を始めます。校門に飾られるパネルは毎年完成度が高いです。また部活動やクラスごとに出し物を行えるので、とても多くの出し物があります。脱出ゲームやジェットコースター、キーホルダーづくりなどさまざまな体験ができます。球技大会はバスケやバレーの集団競技とテニスや卓球、バドミントンなどの個人競技があります。また、ジェンガもあるので運動が苦手な人も貢献できます。

## Q 寮の荷物はどれくらい？

**A** これは1年生の頃だから、とても荷物は少ないです！洋服は3段ボックスに収納し、制服はハンガーにかけていました！そしてお風呂セット、洗剤系などの日用品なども写っていますね。  
2枚目の写真に布団と、ポストンバッグに教科書が入っています。



## ACCESS MAP



- 01 JR佐世保駅下車の場合  
佐世保駅前から「西肥バス」で「沖新町」行  
または「沖新経由東浜」行に乗車  
「自動車検査登録事務所前」下車 所要時間約15分
- 02 JR日宇駅下車の場合(特急は日宇駅には停車しない)  
日宇駅から徒歩約20分
- 03 福岡・佐賀方面から西九州自動車道を利用したときは  
大塔ICで下りて国道35号線に出てください  
大塔ICから所要時間約10分